

名古屋市女性会館のあらまし

令和 7 年度版

名古屋市教育委員会

目 次

I	目 的	1
II	建設の経緯	1
	1 女性学習センター	1
	2 女性情報センター	2
III	施設のあらまし	2
	1 名称・位置	2
	2 建物の概要	2
	3 施設の案内	3
	4 開館時間と休館日	3
	5 部屋別一覧	4
IV	組織及び分掌事務	5
V	予 算	5
VI	令和7年度事業計画	6
	1 はじめに	6
	2 事業目標と具体的な事業	6
	(1) 「学習の場」の提供	6
	(2) 「交流の場」の提供	7
	(3) 「情報の場」の提供	8
	3 施設等の提供	9

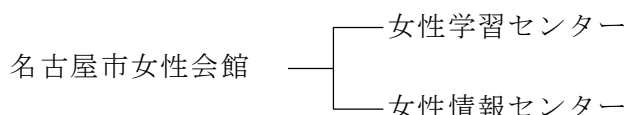
VII	令和6年度事業結果	10
1	主催事業のあらまし	10
	【具体的な事業展開】	11
1	「学習の場」提供事業	11
2	「交流の場」提供事業	13
3	「情報の場」提供事業	15
VIII	令和6年度利用状況	16
1	開館日数	16
2	利用人数	16
IX	参考資料	18
1	新型コロナウイルス感染症に関するイーブルなごやの対応	18

I 目 的

名古屋市女性会館は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として、女性の学習活動・グループ活動の支援等を行い、女性教育の振興を図ることを目的として設けられた社会教育施設である。学習や交流をとおして、女性が問題を解決する力を高められるように、各種の事業を展開している。

また、平成3年に併設された女性情報センターは、女性の生涯にわたる学習要求に応える情報の提供や女性自らの情報の活用、発信を支援することを目的としている。

なお、女性情報センターの開館により、既設の婦人会館と新設の女性情報センターの総合名称を「女性会館」とし、婦人会館部分を女性学習センターとした。



さらに、市民に一層親しまれる施設となるよう、女性会館の愛称を公募により「イーブネット」とした。

「イーブネット… “イーブン＝平等” と “ネットワーク＝交流と連帯” の言葉を合わせたもの」

平成26年4月には男女平等参画推進センターが女性会館に移転し、女性教育と男女平等に係る事業及び運営を一体的に行っている。

また、両施設の共通愛称を公募により「イーブルなごや」とした。

「イーブル… “イーブン＝平等” と “エイブル＝可能” を組み合わせた言葉」

II 建設の経緯

1 女性学習センター（旧「婦人会館」）

1973（昭和48）年	12月19日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市会に請願（署名8万人）
1974（昭和49）年	2月 1日	請願、市会で採択
	8月30日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市長及び教育委員会へ陳情
	12月 3日	婦人グループ・サークルが市長及び教育委員会へ陳情
1975（昭和50）年	1月29日	婦人グループ・サークル共同で婦人会館建設を市会に請願
	1月	名古屋市短期3か年計画を策定（婦人会館建設を計画）
	4月 1日	婦人会館建設調査費を当初予算に計上（調査費30万円）
	10月13日	婦人団体・グループ代表を含む建設調査委員会設置
		第1回会合、基本構想について審議
	12月 1日	第2回会合、施設・事業内容について審議 他都市実情調査
1976（昭和51）年	2月24日	第3回会合、あるべき会館像の作成
	4月 1日	51年度予算に実施設計費を計上（1,000万円）
	7月 7日	第4回会合、女性の要望集約を決定
	7月～9月	計画案・事業案についての女性の要望、意見集約
	9月	現在地に構想固まる
		実施設計費を9月市会で補正
	12月	本体工事実施設計を完了
1977（昭和52）年	4月20日	工事着工
1978（昭和53）年	7月19日	開館

2 女性情報センター

1985（昭和60）年10月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホールの建設をすすめる会」 発足（4団体・69グループ参加）
12月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホール建設に関する陳情書」を 市長、教育委員会及び市会へ提出（署名59,000人）
1986（昭和61）年 8月	婦人団体代表、学識経験者を委員とする「女性教育情報センター建設 調査委員会」を設置
1987（昭和62）年 2月	すすめる会より女性教育情報センターの施設構想について要望書提出
1988（昭和63）年 3月	「女性教育情報センター基本構想」策定
1989（平成元）年 3月	女性教育情報センター基本設計完了、情報システム調査実施
9月	実施設計完了
12月	建設着工
1990（平成 2）年12月	建設完了
12月	情報システム設計完了、運用準備
1991（平成 3）年 5月24日	開館

Ⅲ 施設のあらまし

1 名称・位置

- （1）名称 名古屋市女性会館（共通愛称「イーブルなごや」）
（2）位置 名古屋市中区大井町7番25号

2 建物の概要

	女性学習センター	女性情報センター	合 計
敷地面積	2,211.08㎡	1,169.26㎡	3,380.34㎡
延床面積	3,434.18㎡	2,392.49㎡	5,826.67㎡
建築面積	1,043.39㎡	791.12㎡	1,834.51㎡
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建一部4階建	立体駐車場 484.08㎡
着 工	昭和52年4月20日	平成元年12月	
竣 工	昭和53年7月15日	平成2年12月	
開 館	昭和53年7月19日	平成3年5月24日	
総 工 費	608,962,000円 うち国庫補助 60,000,000円 県費補助 60,000,000円	1,022,000,000円 うち国庫補助 83,000,000円 県費補助 71,400,000円	

3 施設の案内

区 分	女性学習センター	女性情報センター
4 階		同時通訳室（親子ルーム）（3） 調光・映写室・設備機械室
3 階	大会議室・中会議室・大研修室 第6研修室・第7研修室第・第4集会室 多目的室	ホール
2 階	小会議室・第1研修室・第2研修室 第3研修室・第1和室・第2和室 生活科学研修室・視聴覚室・授乳室	録音室・モニター室
1 階	第4研修室・第5研修室・文化活動室 印刷コーナー・活動コーナー 図書閲覧コーナー・図書資料室 ボランティアルーム・託児室	第1集会室・第2集会室・第3集会室 情報フロア・活動コーナー
地 階	機械室・電気室・ボイラー室 消火用ポンプ室	

駐車場	立体駐車場	32台
	平面駐車場 (身障者用2台含む)	17台
	合 計	49台

4 開館時間と休館日

(1) 開館時間

午前9時～午後9時（日曜・祝休日は午後5時まで）

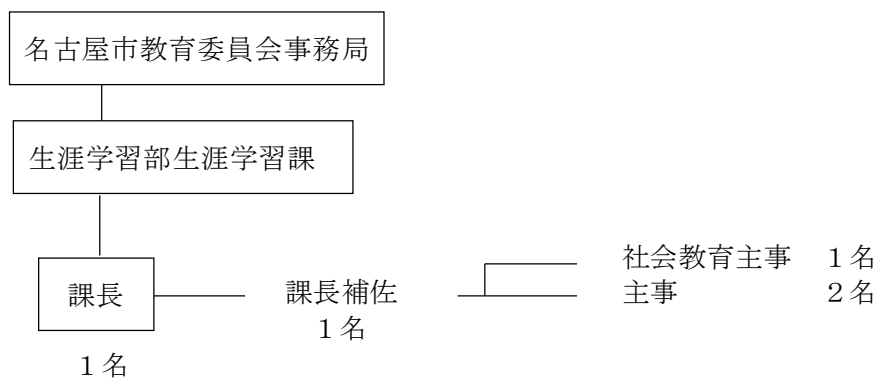
(2) 休館日

毎月第3木曜日、年末年始

5 部屋別一覧

区分	女性学習センター			女性情報センター		
	部屋名	定員（人）	面積（㎡）	部屋名	定員（人）	面積（㎡）
3 階	大会議室	4 2	9 7 . 4 0	ホール	3 5 0	3 5 0 . 0 0
	中会議室	2 4	4 9 . 8 0	ステージ	－	1 4 0 . 0 0
	大研修室	1 5 0	1 4 1 . 6 0	ロビー	－	6 1 . 7 5
	第 6 研修室	1 2	3 3 . 6 2			
	第 7 研修室	3 2	7 0 . 2 5			
	第 4 集会室	6 3	9 4 . 4 0			
	多目的室	3 0	7 6 . 4 8			
2 階	小会議室	1 2	2 9 . 8 8	録音室	－	1 8 . 5 2
	第 1 研修室	5 4	7 0 . 8 0			
	第 2 研修室	5 4	7 0 . 8 0			
	第 3 研修室	1 2	2 9 . 8 8			
	第 1 和室	1 8	9 7 . 0 0			
	第 2 和室	1 5				
	生活科学研修室	5 4	8 7 . 0 0			
	視聴覚室	1 2 6	1 4 4 . 6 0			
1 階	第 4 研修室	1 5	3 2 . 0 0	第 1 集会室	3 6	5 1 . 4 1
	第 5 研修室	8	2 1 . 3 9	第 2 集会室	2 2	3 7 . 9 9
	文化活動室	5 0	1 1 7 . 0 0	第 3 集会室	1 2	3 1 . 2 6
	託児室	－	8 6 . 9 6			
	ボランティアルーム	－	2 9 . 9 6			
	図書資料室	－	1 6 3 . 1 8			
	事務室・放送室	－	9 0 . 8 0			

IV 組織及び分掌事務



生涯学習担当分掌事務（女性会館関係）

- （１） 女性会館の事業
- （２） 女性教育の事業
- （３） 女性会館の管理等に関する合理化

（令和7年3月31日現在）

V 予 算

（単位：千円）

事 項		令和7年度	令和6年度	増 減
女性会館運営費		72,889	70,825	2,064
	管 理 費	70,360	67,999	2,361
	学習機会提供事業	507	625	△118
	情報提供相談事業	2,022	2,201	△179

VI 令和7年度事業計画

1 はじめに

令和6年1月に発生した能登半島地震では、災害時における女性や多様な立場の人々の視点の重要性が改めて認識された。防災・復興の現場においては、性別による固定的役割意識や社会構造の課題が顕在化し、男女共同参画の視点を取り入れた取り組みの必要性が一層高まっている。

また、少子高齢化や働き方の多様化、地域社会のつながりの変化など、社会環境が大きく変わる中で、誰もが互いの人権を尊重し、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現は、引き続き重要な課題となっている。

令和2年12月には、国で「第5次男女共同参画基本計画」が閣議決定され、本市においても、令和3年3月に「名古屋市男女平等参画基本計画2025」が策定された。

これまでも名古屋市女性会館（以下「女性会館」という。）は、女性教育を振興する拠点施設として、男女共同参画社会の実現をめざし、女性の生涯にわたる学習を推進してきた。本年度も、国・本市の上記基本計画の内容を踏まえ、女性教育を振興する拠点施設の使命を達成していくものとする。そして、「学習の場」「交流の場」「情報の場」を充実させ、さらなる女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）や男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる事業を展開していく。また、平成26年度より一体的運営を行っている男女平等参画推進センターとの連携を一層進め、実効性のある充実した事業実施に努めていく。

2 事業目標と具体的な事業

※ 破線で囲まれた事業については、指定管理者が進める。

(1) 「学習の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる学習、また社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習の機会を提供する。

① 主催講座・講演会の開催

ア 講座の4本柱とその内容

女性の生き方、エンパワーメント

女性の生き方やエンパワーメントにつながる学習、社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習。

現代的課題

人権、環境、国際理解等、女性を取り巻く今日的課題についての理解を深めるとともに、課題解決に向けての実践的な態度を養う学習。

社会参画

施設ボランティアや女性リーダー等、地域社会に積極的に参画する人材を育成する学習。

子育て

家庭教育の充実と支援、「親学」の推進を図る学習。

イ 講座・講演会の開催

系統的・継続的な学習機会として連続講座を開催する。

継続的な参加が困難な学習者や女性会館を利用したことがない学習者等、幅広い市民を対象として、単発で行う講演会等を開催する。

ウ 学習サポート

障がいのある方や子育て中の保護者等、様々な事情・状況にある方への学習支援を行うために、講座資料やチラシ等の点訳や要約筆記、手話通訳、託児付きの事業を実施する。

エ 連携

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、大学、行政機関、女性関連施設、女性会館施設ボランティア等と積極的に連携して事業を展開する。

地域で活躍できるこれからの女性リーダーの育成を目的とした「なごや女性カレッジ」を、7年度は、金城学院大学と連携して開催する。

オ 出前講座

将来を担う若者たちに、男女共同参画や社会的性別（ジェンダー）、デートDV等についての正しい知識や現状について学ぶ機会を提供するために、名古屋市内の高等学校を対象に出前講座を実施する。

② 託児事業

託児事業として、女性会館を利用する学習者、また団体・自主学習グループ活動に参加する学習者を支援する「学習支援託児」を行う。

また、講座・講演会等のすべての主催事業において「講座託児」を行う。

（２）「交流の場」の提供

女性会館で活動している団体・自主学習グループが、主体的に学び、様々な交流ができ、かつ学習の成果を地域社会に還元することができるように支援する。

① 学習成果の還元

ア 「イーブルなごや・フェスティバル」の開催をはじめ、団体・自主学習グループが協力して学習や交流ができ、学習の成果を地域社会に還元できる場を開設する。

イ 団体・自主学習グループによる「自主学習グループ開設講座」に対して支援する。

ウ 「学習グループ登録」の推進や、団体・自主学習グループによる学習の成果還元を支援する。

② 団体・自主学習グループの育成・支援

ア 講座や学習終了後、さらに自主的に学習を深めていこうとする団体・自主学習グループの育成・支援を行う。

イ ボランティア活動やグループ活動の継続・継承・発展を支援するための研修会を開催する。

(3) 「情報の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の意識啓発、社会的性別（ジェンダー）の視点を養うことにつながる情報を収集し提供する。

① 学習相談事業

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、女性の課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら情報収集し学習できるよう活動コーナーの学習環境を整えたり、相談を受けたりする。

② 図書資料室の運営

ア 女性のエンパワーメント、男女共同参画、社会的性別（ジェンダー）の視点で、図書・資料を収集する。

イ 図書・資料の展示、貸し出しを行う。

また、図書・資料に関する問い合わせ対応や活用の支援を行う。

ウ 主催事業に関連した、男女共同参画の意識啓発や女性の課題解決に向けたテーマでの図書・資料の企画展示を行う。

エ 講座・講演会等で図書資料室や企画展示のガイダンスを行い、利用促進を図る。

③ 広報の充実

女性会館の事業紹介や学習情報の提供のための広報を積極的に行う。

ア 新聞、地域誌等の広報媒体を活用した積極的な広報を行う。

イ 講座ガイドやチラシを活用した広報を行うとともに、ホームページの充実を図る。

3 施設等の提供

「女性の学習・交流・情報の拠点」として、利用者の視点に立った快適な学習環境の形成のために、施設・設備にかかる良好な条件整備に努め、利用促進を図る。

Ⅶ 令和6年度事業結果

1 主催事業のあらまし

(1) 「学習の場」の提供事業

① 講座の開催

- ・ 主催講座（なごや女性カレッジを含む）16 講座開催。「私のこれからの健康を考える」や「コミュニケーションの秘訣」などを開催した。
- ・ 施設ボランティア育成事業として「託児ボランティア養成講座」「点訳ボランティア入門講座」を前期・後期に開催した。

② 公開講座・講演会等の開催

「科学史とジェンダー ～マリー・キュリーの挑戦～」 「生誕 100 年 芥川（間所）紗織の生き方」など女性の現代的課題にかかわるテーマで公開講座・講演会を 12 回開催した。また、デートDV防止出前講座を 5 回開催した。

③ 「なごや女性カレッジ」の開催

愛知淑徳大学と連携して「リーダーシップに必要な力」をテーマに開催した。

④ 連携事業

- ・ スポーツ市民局男女平等参画推進課との共催で、特別講演会「母であっても、母でなくても ～“私の幸せ”を選ぶ、女性の生き方～」を開催した。
- ・ 主催講座については、託児の会「たんぽぽ」などの女性学習グループと連携して開催した。

⑤ 託児事業

- ・ 「講座・講演会託児」52 回、「学習支援託児」24 回等実施した。

(2) 「交流の場」の提供事業

① 学習の成果を還元するための支援

主催講座・講演会における要約筆記、点訳資料の作成、託児付き事業などを実施した。

② グループの育成・支援

「託児ボランティア研修会」などを開催し、施設ボランティアの活動の継承と発展を支援した。

(3) 「情報の場」の提供事業

① 図書資料室の運営

女性関係専門書の収集、閲覧、貸し出しを行った。また、講座・講演会に関連した図書を展示・貸し出しする「図書・資料の企画展示」を開催した。

② 広報の充実

名古屋市公式ウェブサイトや「生涯学習 Web ナビなごや」へ最新の情報を掲載した。また、地域誌、各社新聞などマスコミを通じての情報提供を積極的に行った。

【具体的な事業展開】

1 「学習の場」提供事業

(1) 主催講座

「女性の生き方、エンパワーメント(A)」、「現代的課題(B)」、「社会参画(C)」、「子育て(D)」の4本柱で、年間を前期（5月～9月）・後期（10月～3月）の2期に分け、実施した。

期	時間	曜日	講座名	回数 (回)	募集定員 (人)	応募者 数(人)	学習者 数(人)	託児受入 数 (人)
前期講座	午前	水	<J-1>こころのメール ～障がいのある女性とともに～ (A)	5	20	13	12	1
		金 火 月	<J-2>【名古屋市立大学連携】 私のこれからの健康を考える (A)	4	35	62	35	0
		金	<J-3>コミュニケーションの秘訣 (B)	4	24	24	19	2
		火	<J-4>私と家族を考える (A)	4	30	16	13	3
		水	<J-5>私流のライフスタイルを考え る (B)	5	30	11	11	1
		月	<J-6>点訳ボランティア入門講座1 (C)	4	20	22	19	0
		金	<J-7>託児ボランティア養成講座1 (C)	4	20	13	6	1
		火 月	<T-1>しゃべって、学んで、ちょっと 気持ちが楽になる子育て講座 (D)	4	24	10	9	6
前期 計		8講座		34	203	171	124	14
後期講座	午前	金	<J-8>託児ボランティア養成講座2 (C)	4	20	10	7	0
		月	<J-9>点訳ボランティア入門講座2 (C)	4	20	17	14	0
		水	<J-10>高齢化する社会と私 (B)	4	30	31	27	1
		火	<J-11>メディアの中のスポーツとジ ェンダー (B)	4	30	7	7	1
		水	<J-12>学びたくなる女性学～時代を 先駆けた女性たち編～ (A)	5	30	30	27	0
		火	<J-13>自分らしく生きるために (B)	5	30	20	18	1
		金	<J-14>女性の視点で考える男女共同 参画 (B)	5	30	11	11	2
		月	<J-15> [なごや女性カレッジ] 【愛 知淑徳大学連携講座】 リーダーシップ に必要な力 (A)	5	24	21	18	4
後期 計		8講座		36	214	147	129	9
主催講座計		16講座		70	417	318	253	23
						充足率	60.7%	

※ 全70回中25回託児なし

(2) 公開講座・講演会等

事業名	月日	テーマ	講師	学習者数(人)	託児数(人)
「いま」を読み解く	6月1日	<E-1>科学史とジェンダー～マリー・キュリーの挑戦～	名古屋工業大学 名誉教授 川島 慶子	80	0
	8月3日	<E-4>発達障害のある女の子が社会で生きるための「生」と「性」～必要な学びと支援～	発達障害療育コンサルタント(公認心理師) 藤原 美保	108	4
	8月31日	<E-5>メディアとジェンダー～女性が報道現場で意思決定権を持つ意味～	NHK名古屋放送局 解説委員 山本 恵子	54	2
	9月7日	<E-6>「歌うことは生きること」～がんとともに生きる～	シンガー Keiko	107	0
	11月6日	<E-7>“孤立”しないで“孤独”を生きる選択～高齢期女性のこれまでとこれから～	名古屋学芸大学 名誉教授 石田 路子	155	1
	1月15日	<E-9>「三淵嘉子」から学ぶ女性の生き方～女性判事第一号となって～	佐賀千恵美法律事務所 弁護士 佐賀 千恵美	89	0
	1月21日	<E-10>性暴力被害の現実と被害者の思いを知る～支援者からのメッセージ～	一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター 会長 片岡 笑美子	37	1
	3月8日	<E-12>災害発生時、女性目線でつながり、自ら進んで活動することの大切さ	一般社団法人こども女性ネット東海 執行理事 藤岡 喜美子	57	5
なごや環境大学共育講座	12月8日	<E-8>幸せな地球を引き継ぐために～私ができる環境活動～	特定非営利活動法人 HAPPY PLANET 代表理事 宮澤 カトリン	33	3
名古屋市美術館 共催 「特別展にみる女性たち2024」	7月6日	<E-3>生誕100年 芥川(間所)紗織の生き方	名古屋市美術館 学芸員 清家 三智	82	2
	2月1日	<E-11>空想旅行案内人 ジャン＝ミッシェル・フォロン	名古屋市美術館 学芸員 久保田 舞美	94	3
特別講演会	6月15日	<E-2>母であっても、母でなくても～“私の幸せ”を選ぶ、女性の生き方～	翻訳家 鹿田 昌美	80	8
		12回		976	29

※ E-7はJ-10の第1回、E-9はJ-12の第1回、E-10はJ-13の第1回

※ 託児数は実際の託児の人数

(3) 託児事業

事業名	回数・月日	内 容	託児者・講師等	託児延数(人)
講座託児	40回	1歳以上就学前までの子の託児	託児の会 「たんぽぽ」	54
講演会託児	7回			27
なごや女性 カレッジ	5回			15
学習支援託児	24回			236
託児室交流会	5月10日 7月26日 10月4日 1月10日	託児説明会&託児室で遊ぼう	託児の会 「たんぽぽ」	4
	7月4日 12月6日	語ろう会 (託児利用者と託児ボランティアとの交流会)	託児の会 「たんぽぽ」	10
※ 託児定員は20人			合 計	346

2 「交流の場」提供事業

(1) イーブルなごや・フェスティバル2024の開催

テーマ「イーブルなごや10周年さらなる一歩でつながろう！」

事業名	月 日	内 容 等	参加者数(人)
映画「SHE SAID/シー・セッド その名を暴け」～声を上げ、つながることで変えられる未来～	5月25日	講座「メディアとジェンダー～女性が報道現場で意思決定権を持つ意味～」(E-5)との連携企画	125
特別講演会 「母であっても、母でなくても ～“私の幸せ”を選ぶ、女性の生き方～」	6月15日	翻訳家の鹿田昌美さんによる、米国の子育て環境や状況をベースに女性の生き方や子育てについての講演	80
2分の1 B紙展示	5月24日～ 6月29日	グループの活動紹介や作品を展示 29グループが参加 5/24～6/28館内壁面 6/29ホール	18,521 ※
舞台発表	6月30日	5年ぶりに開催した、グループによる舞台発表 13グループが発表	414

※参加者数は、2分の1 B紙展示期間中の入館者数

(2) 自主学習グループ主催講座の開設支援

講 座 名	団 体 名	曜日	時間	回数 (回)	定員 (人)	学習者 数(人)
初心者歓迎 歌とダンスで健康に	女子の心と体	木	午後	5	20	2
演歌を楽しむ	演歌を楽しむ会	月	午前	5	10	1
もったいないを家庭から ～編／織／染～	つながれっと3R	木	午前	2	5	4
演芸を楽しむ (マジック・折り紙・隠し絵)	演芸と朗読会	火	午後	5	20	4
エンジョイコーラス	いちょうの会	土	午前	3	10	8
～勿体ないを家庭から～ 編／織／染	イーブルなごや 3RL	木	午前	2	6	5
					合 計	24

(3) 研修会・交流会

事 業 名	回数・月日	内 容	講 師 等	参加者 (人)
託児ボランティア 研修会	5回	子育て支援で大切なこ と 等	認定NPO法人子育て 支援のNPOまめっこ 理事長 中井 恵美 ほか	110
難聴者等支援ボラ ンティア研修会	6月5日 1月8日 3月5日	アンコンシャス・バイア スを知ってノートテイ クに生かそう 等	NPO法人参画プラネ ット 明石 雅世 ほか	18
点訳ボランティア 研修会	11月25日	点訳やパソコン点字の 復習	名古屋ライトハウス 日々の暮らし相談室視 覚総合相談室 藤下 直美	9
子育てグループ交 流会（子育てグル ープ交流会共催）	8月23日 3月6日	仲間と一緒に親子で遊 ぼう	発達コーディネーター 加藤 絵美子 ほか	18
合 計				155

3 「情報の場」提供事業

(1) 学習相談事業

(単位：件)

学習 機会	施設	団体・ グループ	指導者	資格	教材 (資料)	その他	合計
16	2	18	—	—	21	9	66

(2) 図書資料室の運営

ア 利用者数等

事 項	令和6年度	令和5年度
貸出利用者数	762人	803人
貸出利用冊数	1,645冊	1,853冊
予約・リクエスト件数	21件	48件
新規登録者数	107人	102人

イ 蔵書数

区 分	令和6年度	令和5年度
図書・資料 計	31,895冊	31,671冊
図書 ※1	21,982冊	21,916冊
雑誌 ※2	5,227冊	5,142冊
資料 ※3	4,420冊	4,347冊
VTR、DVD、CD-ROM	266個	266個

※1 参考図書、児童図書含む

※2 「女性展望」「We Learn」「f visions」など

※3 全国行政機関発行資料、団体資料、大学紀要、貴重書など

ウ 図書・資料の企画展示実施結果

回数	開 催 期 間	テ ー マ	展示した図書の内容
1	6月1日～ 7月15日	ジェンダー平等について 考える	・ジェンダー平等について ・男女共同参画について ・女性学について
2	9月1日～ 10月15日	みんなで子育て	・日本における子育てについて ・日本における男性の育児休業について ・日本における子育て支援について
3	11月1日～ 12月15日	暴力をなくすために	・女性に対する暴力について ・女性に関わる人権について ・ジェンダーと暴力について
4	2月1日～ 3月15日	女性のからだと健康	・女性のからだと健康について ・女性のこころの健康について ・女性ホルモンについて

Ⅷ 令和6年度利用状況

1 開館日数 347日

2 利用人数 218,848人 (令和5年度 217,012人)

内訳

(1) 研修室・ホール等利用人数

183,004人 (令和5年度 175,275人)

区 分	性 別			計
	女 性	男 性	不 明	
貸 室 (男女平等)	25,959人	13,979人	2,138人	42,076人
貸 室 (女性教育)	59,499人	11,616人	909人	72,024人
貸 室 (その他)	39,401人	26,060人	3,443人	68,904人
計	124,859人	51,655人	6,490人	183,004人

(2) その他の利用人数

35,844人 (令和5年度 41,737人)

室 名	性 別			計
	女 性	男 性	不 明	
託 児 室	1,349人	348人	149人	1,846人
ボランティアルーム	908人	12人	—	920人
録音室・モニター室	49人	16人	—	65人
その他 (※1)	—	—	32,997人	32,997人
館外利用人数 (※2)	15人	1人	—	16人
計	2,321人	377人	33,146人	35,844人

(※1) 貸室以外の館内で行った事業及び、図書資料室・活動コーナー・情報フロアなどの利用者を計上

(※2) 館外利用人数とは、館外で実施した女性会館主催事業の人数

(3) 研修室・ホール等部屋別利用状況

部屋名	利用件数	利用率	利用者数
大会議室	4 3 4 ^件	4 4. 5 [%]	7, 7 3 7 ^人
中会議室	6 9 5	7 1. 2	7, 3 4 6
小会議室	5 9 6	6 1. 1	3, 6 2 9
大研修室	7 5 8	7 7. 7	1 6, 5 3 8
第1研修室	5 6 2	5 7. 6	9, 8 7 2
第2研修室	5 1 5	5 2. 8	8, 7 9 8
第3研修室	6 4 6	6 6. 2	3, 6 7 6
第4研修室	6 3 4	6 5. 0	4, 0 6 1
第5研修室	6 4 2	6 5. 8	2, 6 7 9
第6研修室	7 1 4	7 3. 2	4, 2 5 8
第7研修室	6 4 8	6 6. 4	6, 1 9 5
第1和室	5 0 1	5 1. 3	2, 5 6 2
第2和室	3 1 1	3 1. 9	1, 7 1 2
生活科学研修室	5 3 4	5 4. 7	8, 1 6 6
視聴覚室	6 4 3	6 5. 9	1 8, 9 7 6
文化活動室	8 4 1	8 6. 2	1 1, 5 4 7
第1集会室	6 2 2	6 3. 7	7, 4 2 5
第2集会室	6 0 0	6 1. 5	5, 0 6 4
第3集会室	6 6 0	6 7. 6	3, 7 7 8
第4集会室	6 9 6	7 1. 3	1 2, 8 2 4
多目的室	8 4 2	8 6. 3	7, 4 5 0
ホール	3 3 7	3 4. 6	2 8, 7 1 1
合 計	1 3, 4 3 1	6 2. 6	1 8 3, 0 0 4
令和5年度合計	1 3, 4 4 2	6 2. 6	1 7 5, 2 7 5

IX 参考資料

1 新型コロナウイルス感染症に関するイーブルなごやの対応

時 期	事 項	国・県・市の動き
2020(令和2)年 3月2日	臨時休館(～5月31日)	3月2日 全名古屋市立学校(園)の 臨時休業(～5月31日)
4月21日	令和2年度前期の生涯学習課 主催講座・事業及び自主学習グ ループ開設講座の中止決定	4月10日 愛知県緊急事態宣言 (～5月25日) 4月16日 緊急事態宣言 (～5月14日)
5月20日	「生涯学習センター及びイー ブルなごやの開館に向けたガイ ドライン」の策定	
6月1日	開館(図書資料室及び託児室の 一般利用を除く)	
9月1日	図書資料室の利用再開	8月6日 愛知県緊急事態宣言 (～8月24日)
2021(令和3)年 1月18日	夜間区分の新規申し込みを20 時までの利用に制限。既に使用 許可をしている者に対しては、 20時以降の活動を自粛するよ う要請(～2月28日)	1月14日 緊急事態宣言 (～2月28日) (※1月18日～2月28日 時短措置)
4月20日	夜間区分の新規申し込みを20 時までの利用に制限。既に使用 許可をしている者に対しては、 20時以降の活動を自粛するよ う要請(～7月11日)	4月20日 まん延防止等重点措置 (～5月11日) 5月12日 緊急事態宣言 (～6月20日) 6月21日 まん延防止等重点措置 (～7月11日)
8月8日	夜間区分の新規申し込みを20 時までの利用に制限。既に使用 許可をしている者に対しては、 20時以降の活動を自粛するよ う要請(～9月30日)	8月8日 まん延防止等重点措置 (～8月26日) 8月27日 緊急事態宣言 (～9月30日)
		10月1日 愛知県厳重警戒措置 (～10月17日) 10月18日 愛知県警戒領域 (～1月14日)
10月31日	ガイドライン改定 部屋の定員を従来通りの定員 に変更(大声を出すことが想定 されない場合に限定)	

2022 (令和 4) 年		1 月 15 日 愛知県厳重警戒 (～ 1 月 20 日) 1 月 21 日 まん延防止等重点措置 (～ 3 月 21 日) 3 月 22 日 愛知県厳重警戒 8 月 5 日 BA. 5 対策強化宣言 (～ 9 月 30 日) 10 月 1 日 愛知県厳重警戒 12 月 8 日 愛知県医療ひっ迫防止 緊急アピール (～ 2 月 19 日)
2023 (令和 5) 年		2 月 20 日 愛知県厳重警戒 2 月 27 日 愛知県警戒領域 (～ 5 月 7 日)
5 月 8 日	ガイドライン廃止	5 月 8 日 「新型インフルエンザ等感染症(2 類相当)」 から 「5 類感染症」 へ移行
2024 (令和 6) 年 4 月 1 日	中止していた託児室の一般利用を再開	